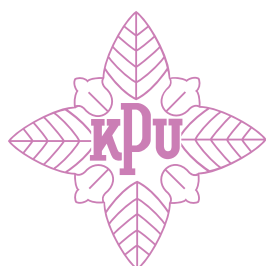


# 神戸薬科大学 自己点検・評価報告書

— 大学基準協会 大学評価申請 2008 —



**Kobe  
Pharmaceutical  
University**



# 『神戸薬科大学自己点検・評価報告書 —大学基準協会大学評価申請2008—』 発刊にあたって

学 長 棚 橋 孝 雄

2004（平成16）年より、学校教育法に基づき、全ての大学は教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況について、文部科学大臣が認証する認証評価機関の実施する認証評価を定期的に受けることが義務づけられた。

本学は1995（平成7）年から、全学的に自己点検・評価を行い『神戸薬科大学自己点検・評価報告書—現状と展望—』として冊子に纏め公表していたが、認証評価の義務化を機に、2003（平成15）年に（財）大学基準協会への加盟申請を行い、2004（平成16）年4月から正会員として認められた。2年が経過した2006（平成18）年には、加盟審査の際に受けた「勧告」や「助言」を中心に、教育改革構想を練り、種々の改善状況を『神戸薬科大学自己点検・評価報告書—大学基準協会加盟判定審査後の改善状況2006—』として刊行し、中間報告とした。

それ以後、薬学教育を取り巻く状況は大きく変化し、本学もかつてない厳しい環境下に置かれることとなった。すなわち、近年の薬科大学、薬学部の相次ぐ新設と少子化により受験生が減少し、また2006（平成18）年の薬学教育6年制の開始に伴い、新たな教育内容や教育方法の導入が必須のものになった。それらに対応すべく新たな教育改革が求められ、施設や組織の見直しも必要になった。2008（平成20）年2月には、実務実習事前教育や共用試験に対応する新教育棟が竣工し、また教員組織を再構築することにより、医療薬学研究室、薬学臨床教育センターや情報支援室を新設した。さらに生涯研修を推進する組織としてエクステンションセンターを設置し、有限責任中間法人薬剤師認定制度認証機構から生涯研修認定制度の認証を受けた。また理想的な薬学教育、チーム医療教育の実現を目指して、6年制カリキュラムを充実させるとともに、神戸大学や他の医療機関との連携を強化するなど、薬学教育の教育研究水準向上のため種々の改善努力を重ねているところである。

今回の自己点検・自己評価の報告書によって本学は（財）大学基準協会に加盟後初めての大学評価を受けることになった。自己点検・自己評価は4年制から6年制課程へ移行の時期、改革の途上に実施されたものであり、種々の問題点や課題を真摯に認識することができた。この時期に大学評価を受けることは、本学の今後の改革の方向性を確認する上で重要な意義があり、改善策の実現に向けた大きな推進力になると期待される。今後更に本学の大学の理念や教育目標の達成に向け、教育研究活動や組織運営の充実に邁進していきたいと考えている。